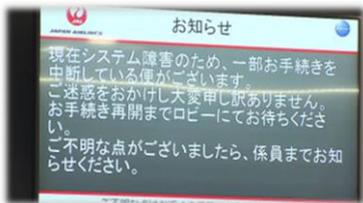


サイバー攻撃の脅威と中小企業・個人事業主が今すぐできる対策

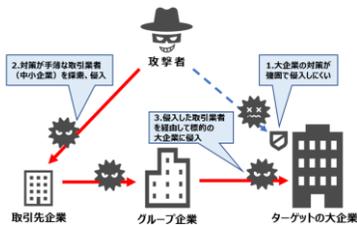
昨年12月26日、日本航空（JAL）の社内システムがサイバー攻撃によりダウンし、多くの便が遅延や欠航しました。



このニュースを聞いて、皆さんはどのように感じましたか？

「大企業の話だから関係ない」と思っている方も多いのでは？

しかし、サイバー攻撃の手口は年々巧妙化しており、中小企業を足掛かりにして大企業を狙う「サプライチェーン攻撃」が増加しています。



このように、被害に遭うのは大企業だけではなく、中小企業や個人事業主も標的になるケースが増えているのです。

最近特に多いサイバー攻撃の種類として、以下のような手口があります。



① **DDoS 攻撃 (分散型サービス妨害攻撃)**: 大量のデータを送りつけてシステムを停止させる手法。

《事例》 JAL、三菱UFJ銀行 など

② **ランサムウェア (身代金要求型ウイルス)**: パソコンのデータを人質に取り、解除のために金銭を要求する攻撃。

《事例》 大阪医療センター、ニデック など
これらの攻撃により、EC ショッ

プの停止や顧客情報の流出など深刻な被害が発生しています。

さらに、中小企業が攻撃の踏み台となり、取引先へ被害が及ぶケースもあります。結果として、信頼の失墜や損害賠償、取引停止のリスクが高まります。

サイバー攻撃は他人事ではありません。中小企業や個人事業主も、今すぐ対策を講じることが重要です。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝

IT知識が少ない中小企業でもできるサイバー攻撃対策

a) ソフトウェアを最新に保つ

OS やソフトを最新の状態に保ちましょう。更新を怠ると、セキュリティの脆弱性を狙われ、攻撃を受ける恐れがあります。

b) Mail の URL に注意する

サイバー攻撃の多くは不審なメールが原因です。メール内の

URL は不用意にクリックしないよう注意しましょう。特に、取引先を装った詐欺が増えており、慎重な確認とセキュリティ意識の向上が重要です。

サイバー攻撃は中小企業にも現実的な脅威ですが、基本的な対策を実施することで防ぐことが可能です。少しの注意と習慣化を心がけ、事業を守りましょう。



この様な注意画面が出たパソコンは更新・買い替えが必要です。

今のパソコン環境をチェック確認し安全で快適な Windows 11 への移行をおすすめします。

【編集】 株式会社 ハイ・フライ・サポート

代表取締役 今村 進一 (IT コーディネーター)

TEL: 090-9518-5810 Mail: info@hiflysupport.com

